

## 自分の利用状況を知ることから！

- **使っている時間と内容**を知る
  - 何のゲーム、何のアプリを何時間使っている？
- **ネットを使うことで減っている時間**を知る
  - 勉強、<sup>すいみん</sup>睡眠、読書…
- **現状にあわせた目標**を作る
  - 「1日10分まで！」を実行できる？

# 情報モラル教育支援 「お助けネット」

株式会社 教育ネット

炊事	1-4
保健美化	1-1
レク	1-2
学習	被服室

持ち物：組合ファイル・筆記用具・適足履物の着料

行事係（行事係）水道部呼びかけ担当

1班	2班	3班	4班	5班	6班
1000円	2000円	3000円	4000円	5000円	6000円
1000円	2000円	3000円	4000円	5000円	6000円
1000円	2000円	3000円	4000円	5000円	6000円
1000円	2000円	3000円	4000円	5000円	6000円

# 目次

---

1. はじめに
2. 社会的背景と目的
3. 事業概要
4. スケジュール
5. 導入実績
6. おわりに

# はじめに：教育ネットの情報モラル

リスク回避



リスク回避から  
リテラシーの育成まで  
様々なテーマを  
ご用意しています。

リテラシーの育成

# はじめに：教育ネットの情報モラル支援

ゲストティーチャーによる情報モラル授業支援と  
ネット利用の実態調査を軸とした  
情報モラルの総合的なコンサルティングサービスです。

## 実態調査

児童生徒・保護者の  
利用状況の見える化

正確な実態の把握

## 授業支援

実態に即した  
授業実施

『今』のコンテンツを  
取り入れ自分事として  
考えるきっかけとする

地域・学校に合った柔軟な提案・支援が可能

# 目次

---

1. はじめに
2. 社会的背景と目的
3. 事業概要
4. スケジュール
5. 導入実績
6. おわりに

# 社会的背景（学校が抱えている課題）

GIGA端末の導入によって、教育現場が大きく変化しました。  
それに伴い、情報モラル教育の役割として  
4つの大きな課題が出てきました。

## 課題①

GIGA端末導入に伴う  
**説明責任**

## 課題②

先生の働き方改革のための  
**業務改善**

## 課題③

端末を安心して使うための  
**モラルの向上**

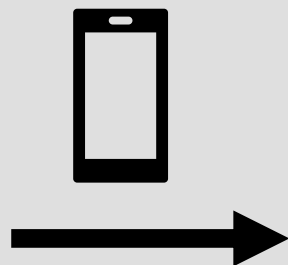
## 課題④

トラブルの多様化・低年齢化に伴う  
**専門家の重要性**

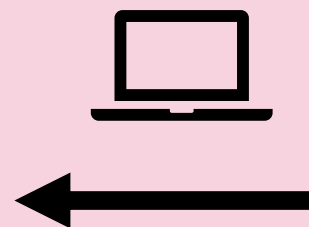
# 課題①：GIGA端末導入に伴う説明責任

児童生徒へ学校が端末を貸し出す事によって  
情報モラルの教育場面は  
家庭と学校へと変化しています。

今まで



GIGA導入後



一人複数台のICT機器を利用する子供たち

# 課題①：GIGA端末導入に伴う説明責任

学校での情報モラル教育に**保護者**の興味関心が高まり、自治体や学校に説明責任が求められる時代になっています。

もし、壊してしまったら？

うちの子はちゃんと使えてるの？

遊んでるの？  
勉強してるの？

使いすぎてない？  
身体に影響は？

変なサイトを見てるかも

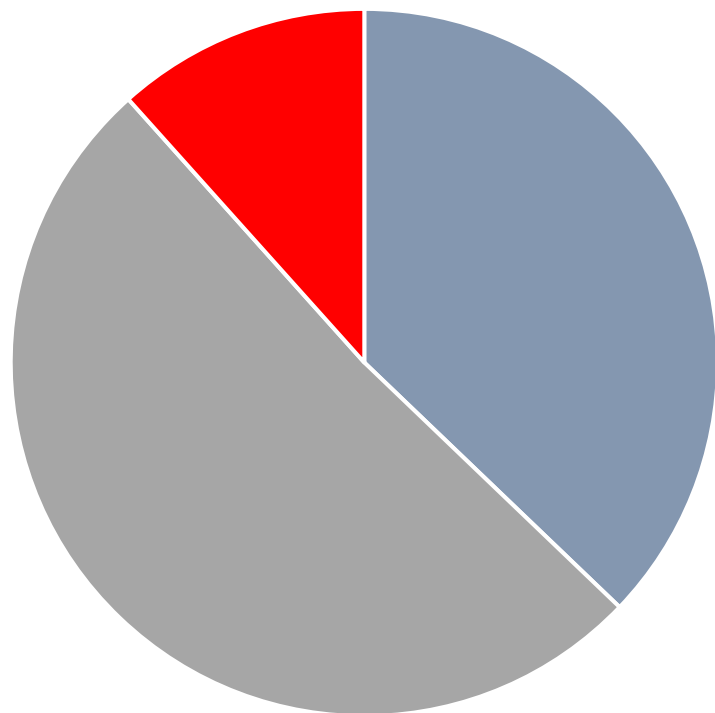
学校ではどんな指導をしているの？

学校における情報モラル教育、情報活用能力の育成はより必要性和重要度が増しています。



# 課題②：教員の業務改善

11.7%



■ 授業 ■ それ以外の校務 ■ 授業準備

一日あたりの授業準備時間は  
**1時間17分**

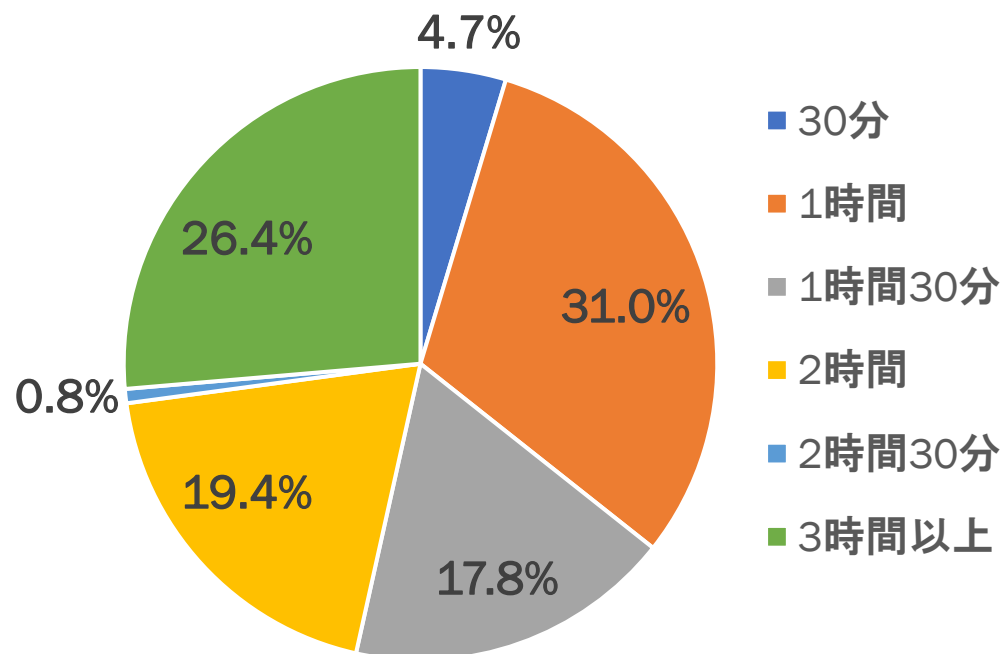
GIGA端末の導入、学習指導要領の改定など、従来よりも授業準備に多くの時間が必要になっています。

一方で、授業と授業準備以外の校務をしなければならない時間も多く、

**授業準備時間は1日あたり1時間17分程度しか確保できない現状があります。**

# 課題②：教員の業務改善

情報モラルの授業準備には  
どれくらい時間がかかりますか



教職員が情報モラル教育に  
対して感じる課題

忙しくて情報モラル教育に  
手がまわらないと半数が回答

授業準備の中でも、情報モラルの授業準備は特に時間がかかります。

9割以上が1時間以上と回答

# 課題③：活用するためのモラルの必要性

『ICT機器が苦手だから授業で活用しない』のではなく、  
『授業で活用したいのにトラブルが心配で使えない』のです。  
情報モラルを学ぶことで、先生も積極的に活用できます。

児童生徒に  
使わせたい！

トラブルが  
起きないか  
心配

授業でも  
活用できない

児童生徒に  
使わせたい！

トラブルが  
起きないか  
心配

情報モラルを  
しっかり  
学んだ！

積極的に  
活用できる！

# 課題④：専門家の必要性



長時間利用



高額課金



マナー



著作権/肖像権  
の侵害



悪口、いじり



不適切サイトの  
閲覧



出会い



セキュリティ



個人情報



オンラインでの  
やりとり



メッセージの  
やりとり

年々**トラブルの種類が増加し、より複雑に、低年齢化**する中で、専門家からの支援が教育現場や保護者からも求められています。

【年齢に合った手法】でその【瞬間】にあわせた最新情報を【継続的に】伝えていく必要があります。

# お助けネットが導入されることの効果

## 地域

情報モラルを身につけることで、ITを活かし地域を活性化させる市民になるための素地を養う。

学校に留まらず  
地域全体に

市民全体のリテラシー向上  
住民の安心感への繋がり

## 学校

自信を持って児童生徒に使わせられる。  
保護者に数値を元にした説明ができる。

## 自治体

説明責任が果たせる。  
現場に必要な支援を届けることができる。

# 目次

---

1. はじめに
2. 社会的背景と目的
- 3. 事業概要**
4. スケジュール
5. 導入実績
6. おわりに

# 事業概要：支援イメージ

常に『**学校に寄り添った**』  
必要な支援を提供しています。

教育委員会

委託 ↓

↑ 報告



教育ネット  
Education Network

支援

教職員研修

管理職

課題感等の  
ヒアリング

掲示教材を  
毎月送付

教員

調査結果とニーズに合った  
授業支援

児童生徒・保護者への  
実態調査

児童生徒

家で学べる  
クラウド教材

保護者講習

保護者

# 代表的な支援内容

---

- ① ネット利用実態調査
- ② 情報モラル授業支援
- ③ 掲示教材：お助けネット通信
- ④ クラウド教材：お助けネットクラウド
- ⑤ その他の情報モラル・リテラシー教材



# ① ネット利用実態調査

教育委員会

自治体全体の傾向を分析  
結果をフィードバック



分析後、結果を送付  
結果に基づく授業実施



専門家の分析に  
基づいた指導



学校と保護者の共有  
児童の実態  
保護者との認識の乖離  
効果的な指導

## アンケートに解答して 用紙を返送するだけ！

### 実施対象：児童生徒・保護者

児童生徒と保護者の認識の乖離をデータで示すことで、保護者に対して根拠のある数字を元に児童の実態を理解し、家庭での指導の助言をすることができます。

### 2020年度は全国40,640名の実態と比較

より実態に即した・質の高い授業支援が可能  
です。

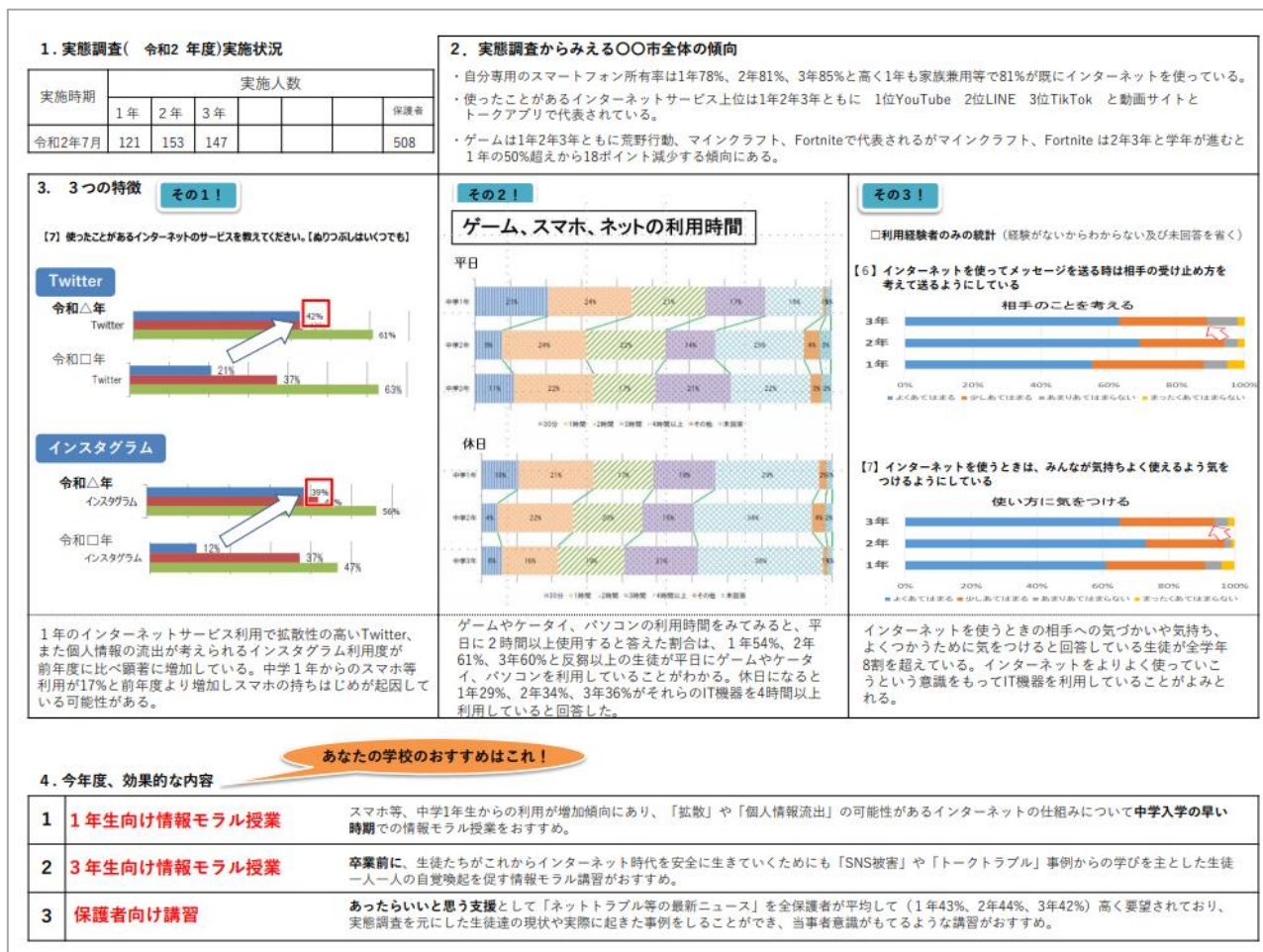
(調査累計：397,137名 ※2020年度までの実績)

【参考】

内閣府 令和2年度(2020年度)  
青少年のインターネット利用環境実態調査青少年 5,000人

# ① ネット利用実態調査

全ての学校1校1校に診断レポートを作成し、  
診断結果から判断した今年度効果的な授業内容を提案します。



## ②情報モラル授業支援

実態調査結果に基づいた授業内容と先生方へのヒアリングで現場に必要な最新の情報モラル授業を『専門家』が支援します。

児童生徒の  
実態整理

実態調査結果と  
ヒアリングから  
**学年単位**で  
実態を整理

授業の  
題材決定

最新事例と  
**70種以上**の  
コンテンツから  
実態に沿った  
題材を決定

教材を  
探す

**自社制作**の  
クラウド教材や  
外部の教材を  
柔軟に利用

授業の  
組み立て

実施時間や  
開催方法に  
合わせた内容を  
**指導案形式**で  
事前にお渡し

授業実施

先生と一緒に  
授業を行うこ  
とで**先生の**  
**スキル向上**に  
繋がる

授業準備時間の**大幅短縮** + **スキルアップ**

# ②情報モラル授業支援：授業案例

低学年向けにはパペットを使いながら学ぶなど  
『**学年・目的に合わせた手法**』で実施します。

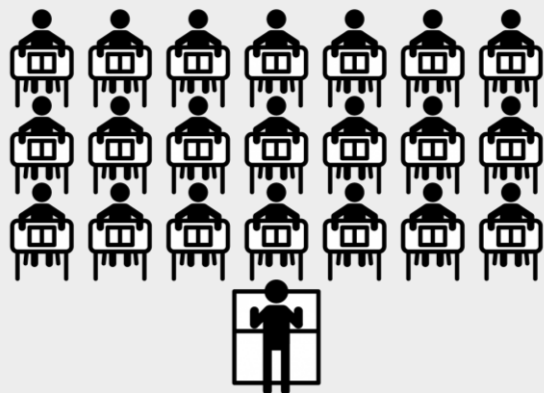
2021年度 情報モラルの学習 小学校授業テーマ一覧

ねらい	授業テーマ①	授業テーマ②	授業テーマ③
<p><b>【低学年①】</b> ネットトラブルから 身を守ろう</p> <p>～インターネットの特徴を知って、 トラブルから自分を守ろう～</p>  <p>※パペットを使いながら楽しく学びます</p>	<p>『つたえたいきもち』 インターネットでのコミュニケーションについて 学び、文字だけのやりとりでは気持ちが伝わりづらいこと に気づく。</p>  <p>コミュニケーション</p>	<p>『こんなメールがきたら』 あやしいメールやメッセージが表示された場合、どのよう にすればよいか考え、保護者に相談しながら使う姿勢 を養う。</p>  <p>セキュリティ</p>	<p>『もうちょっとどどのくらい？』 ゲームや動画をやりすぎてしまうのどのようなどきかを 考え、ルールを守って利用することの大切さを確認す る。</p>  <p>ネット依存</p>
<p><b>【低学年②】</b> 情報活用能力を 鍛えよう</p> <p>～これからは学習でも1人1台。 インターネットをうまく活用して、 自分の生活を豊かにしよう～</p>  <p>※パペットを使いながら楽しく学びます</p>	<p>『インターネットってなんだろう？』 インターネットが世界中につながっていることを 学び、情報発信の影響を意識する契機と する。</p>  <p>ネットの仕組み</p>	<p>『ネットでしらべもの』 インターネットには間違った情報があることを知り、 正しい情報を得るにはインターネット以外にどの ような方法があるのかを考える。</p>  <p>情報の真偽</p>	<p>『パスワードってなあに？』 サービスを利用する際に必要となるID、パスワードの 大切さを確認し、より安全に設定していく姿勢を養う。</p>  <p>セキュリティ</p>

# ②情報モラル授業支援：実施方法

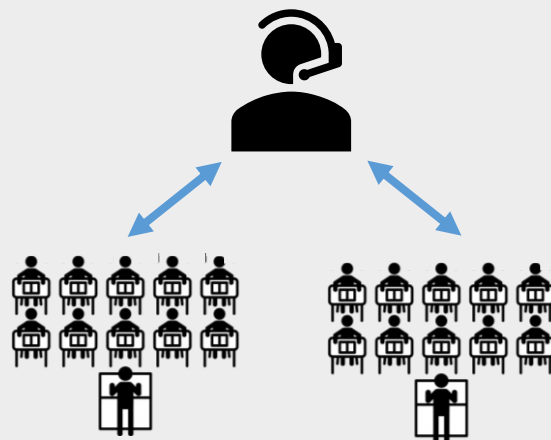
学校の要望に合わせた授業実施形態をご提案します。

## 対面授業



教室や体育館などで、講師が学校にお伺いして授業を行います。  
従来どおりの講義形式です。

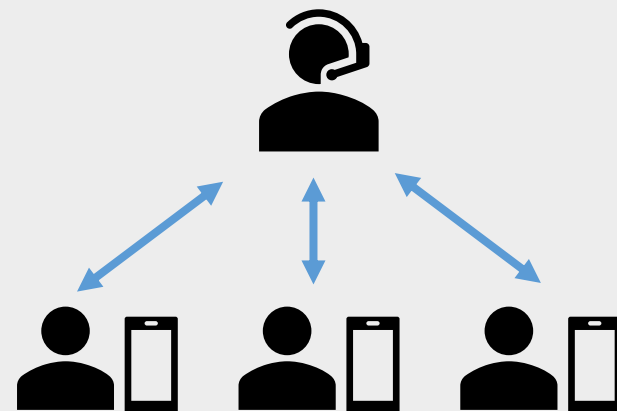
## 教育ネットと各クラス オンライン



講師と各教室をオンラインでつないで授業を行います。  
学校の放送室などから授業を配信することも可能です。

様々なオンラインツールに対応しています。  
zoom, meet, teams等

## 教育ネットと各保護者 保護者参観も可能



講師と各受講者をオンラインでつないで講習を行います。  
100人以上の同時参加も可能です。

様々なオンラインツールに対応しています。  
zoom, meet, teams等

# ③ 掲示教材：お助けネット通信

## お助け ネット通信

2019年6月

小学校版

第53号

情報の発信

インターネットに投稿した写真は勝手に消えることではありません。ネットに出してすぐは問題にならなくても、半年後、一年後に突然その写真が問題になり注目される事例もありました。非常識な行動をしないのは当然の事ですが、それを写真に撮ってネットに出したことがきっかけで大きなニュースになる事も増えています。

あとから問題になることも

Copyright (C) 2019 Edu-net Co., Ltd & Neisys Technology LLC & Child community site conference Co., Ltd. All Rights Reserved. ONT190521-377AMN

## 毎月新しい事例をインプット

お助けネット通信は、毎月・学級数分教育ネットから最新号が送付されます。受け取って掲示するだけで、毎月新しい事例をインプットできます。

## 先生の業務改善に

教室に掲示する中で、今世の中で起きているネットトラブルを知ることができるため、短時間で先生自身が学ぶことができます。

## 地域への説明責任に

廊下や教室などに掲示することで、学校を訪問した様々な地域の方々に対して、情報モラル教育をしっかりと実施していることを示すことができます。

## 自分ごととして捉える

子どもたちにとって身近なテーマ、身近なサービスを取り扱うことで『情報モラル』を自分ごととして捉えます。

# ④お助けネットクラウド

タブレットの持ち運びやパスワードについての基本・文字の入力の仕方など一人1台の活用に必要なコンテンツも豊富に取り揃えています。



## 体験で学び合う情報モラル教材 お助けネットクラウド

### はじめに

端末を使うときの基本の使い方をノベルコンテンツで学ぶ。



画面タップで読み進められます。

主な内容

- ・パスワードって？
- ・持ち運び
- ・キーボード入力

### ネット妖怪

なじみやすいキャラクターで情報モラルを楽しく考える。



教育ネットのオリジナルキャラで学べます。

主なネット妖怪

- ・カキンシスギラ
- ・トリマクリ
- ・ハズシヒメ

「動画」や「いろんな権利」、「ネット標語」など他にも沢山のコンテンツがあります。

# ④お助けネットクラウド

授業中の提示教材としても、自主学習としても活用できる  
体験で学ぶ情報モラル教材です。

## 授業で



提示教材として活用することで  
教室全体で課題を  
共有することができます

## 家庭で



家の端末からもログインできるため  
保護者と一緒に学ぶこともできます



# ⑤その他の情報モラル・リテラシー教材

様々な場面で情報モラル・リテラシー教育を行うための教材も開発しています。

## 掲示教材

教室に掲示できる教材を毎月お届け



## クラウド教材

1人1台端末で家庭でも学ぶ



体験で学び合う情報モラル教材

お助けネットクラウド

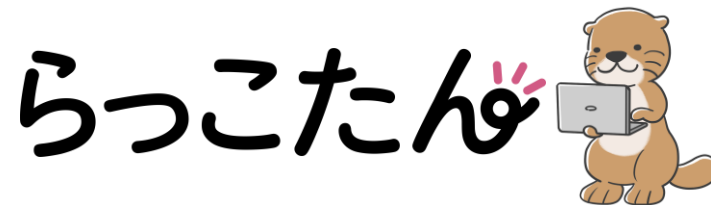
## Webテスト(開発中)

ネットリテラシーの習熟度を確認

ネットリテラシー検定  
(仮称)

## クラウド教材(実証中)

情報活用能力を楽しみながら学ぶ



# ⑤インターネットマスターブック

教育ネットの**実態調査結果**や**情報モラル授業コンテンツ**などを1冊にまとめた**保護者や先生と一緒に考える冊子教材**です。



### Case1 ついつい利用時間が長くなる…そんなときは、どうしたらいいの？

① ゲームたのしいな。

② もうこんな時間だ。

③ あと5分だけやっておしまいにしよう。

④ いつまでやってるの！

わかるなあ。先生もついつい時間が過ぎてしまうことがあるよ。  
やめどきって難しいんだよね。

え！？先生もそうなの？  
ぼくたちだけかと思ってたよ！

『あと5分だけやっておしまいにしよう』って思ったときは  
本当にやめるつもりなんだよ。

なのに、ふと気がつくと時間が過ぎているんだよね。  
わかるなあ。

バランス良く使うのは、大人でも難しいんだよ。  
どんな工夫をしたらいいか、一緒に考えてみよう！

---

**Step1**

つい使いすぎてしまうアプリやゲームを書いてみよう

自分がゲーム機やスマートフォン、タブレットで「いつも何をしているかを知ること」が第一歩だよ！

あなたがつい使いすぎてしまうアプリやゲームを書いてみよう

ぼくはゲームが多いな。動画もよく見るよ！

**Step2**

ちょうどいい利用時間を考えてみよう

自分が何をしているかがわかったら、ちょうどいい利用時間を考えてみよう！

ちょうどいい利用時間がどれくらいか考えてみよう

1日に2時間くらいかな。ぼーっと見ているだけの時間を減らしてみよう！

**ここがポイント！**

自分の利用時間を見直してみよう！  
自分の生活とアプリやゲームをバランス良く楽しもう！

**適度な利用時間ってどれくらい？**

**必要な睡眠時間を知ろう**

米国睡眠医学会が推奨している時間

小学生：9-12時間 中学生：8-10時間

朝6時に起きる場合の寝る時間

小学生：午後9時 中学生：午後10時

**3人に1人が苦戦！**

**時間のコントロールは難しい**

使用時間を減らしたり、やめようとしてうまくいかなかったことがたびたびありますか？

ある 37%  
ない 61%

調査対象：小中学生16,230人

# 目次

---

1. はじめに
2. 社会的背景と目的
3. 事業概要
4. スケジュール
5. 導入実績
6. おわりに

# スケジュール

学校や自治体の実態・要望に合わせて  
**柔軟にスケジュールを変更可能**です。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
コンサルティング	自治体・学校のご要望に合わせて柔軟にヒアリングを含めたコンサルティングを実施します。											
お助けネット 通信	4月号 送付	5月号 送付	6月号 送付	7月号 送付		9月号 送付	10月号 送付	11月号 送付	12月号 送付	1月号 送付	2月号 送付	
お助けネット クラウド	アカウ ント 配布											
ネット利用 実態調査	実態調査 用紙送付	<b>実施</b>		<b>集計 分析</b>	報告							
情報モラル 授業支援				<u>保護者 講習</u>	<u>教員 研修</u>	<u>児童生徒向け授業支援</u>						新入生 向け 説明会

# 目次

---

1. はじめに
2. 社会的背景と目的
3. 事業概要
4. スケジュール・実施体制
- 5. 導入実績**
6. おわりに

# 2020年度実績

## 支援自治体実績 **57**自治体

支援自治体  
(順不同)

(東京都) 港区 練馬区 大田区 世田谷区 千代田区  
(神奈川県) 川崎市 大和市 藤沢市 南足柄市 大井町  
(千葉県) 野田市  
(その他都道府県) ・兵庫県加古川市 ・京都府南丹市

など

## 授業支援回数 **1,142回** (8,387回) ※( )内は累積実績

児童生徒 912回 (6,174回)

教職員 132回 (1,050回)

保護者 67回 (957回)

その他 91回 (216回)

## 実態調査 **40,640名** (累積：397,137名)

その他の受託事業

- ・経産省IPAインターネット安全教室(2019,2020)
- ・総務省 青少年のインターネット・リテラシーに関する実態調査(2018)
- ・東京都親子スマホ教室 年間100校(2016,2018,2020,2021)
- ・東京都プログラミングキャラバン(2020)
- ・札幌市 インターネットの安全な利用に係る教材作成・研修業務(2019,2020,2021)
- ・神奈川県大井町GIGAスクールサポーター配置業務委託(2020,2021)

# 目次

---

1. はじめに
2. 社会的背景と目的
3. 事業概要
4. スケジュール・実施体制
5. 導入実績
6. おわりに

# おわりに

## 自治体の数だけ支援の形がある

教育ネットでは、ほぼ毎月『営業』『運営』『開発』に携わる全ての社員が、実際に学校で授業支援を行います。

- 現場を知っているから、今必要な提案ができる
- 現場を知っているから、柔軟な対応ができる
- 現場を知っているから、これから求められる教材が作れる

現場にあるヒントを大切にしているクリエイティブな現場主義であること

教育ネットの大切な活動指針です。

『お助けネット』は導入してからがスタートです。

未来を生きる子どもたちの情報活用能力を育む  
そんな教育に向かう先生・自治体・地域のパートナーとして、  
その瞬間一番必要な支援は何なのか、一緒に考えさせてください。



# 会社概要

会社名	株式会社 教育ネット
本社所在地	〒224-0032 神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央24-4 第6セキビル502 TEL 045-530-9401 FAX 045-530-9402
東京支社	〒167-0053 東京都杉並区西荻南3-4-1
代表取締役	大笹いづみ
設立	2014年6月6日
従業員数	30人(役員含む)
講師数	60人



# お問い合わせ先

教育ネットHP

<https://edu-net.co.jp/>

お問い合わせは [こちら](#) ↓

[https://contact.edu-net.work/edu-net\\_contact](https://contact.edu-net.work/edu-net_contact)



教育ネットHP

担当 浅井 香穂

☆TEL: 045-530-9401 ☆FAX: 045-530-9402

☆E-MAIL: [asai\\_kaho@edu-net.co.jp](mailto:asai_kaho@edu-net.co.jp)

お気軽にお問い合わせください

